

# デーリー東北

2021年(令和3年)3月11日(木曜日) (22)

## 被災地調査の成果紹介 ハ工大 はっちで防災展示

被災状況の調査結果や防災研究の成果を  
伝えている会場



### 八戸

研究などについて報告している。

八戸工業大(坂本禎智学長)による「3・11防災展示」東日本大震災から10年、そしてこれからも「が10日、八戸市の「はっち」ギヤラリー2で始まった。学生や教授らによる東北地方の被災状況の調査や、復興への取り組みをパネルや写真で伝えている。14日まで。

田子町や二戸市の盛り土の被害、岩手県沿岸部などの災害廃棄物調査の内容を展示。そのほか、防災教室の開催や、岩手県山田町の防波堤に町民と壁画を制作する、町民の心理的復興研

同大学院工学研究科社会基盤工学専攻の堀合紳弥さん(24)は10年前、山田町で被災したことを受け、高齢化の進む同町を対象に調査。千島・日本海溝沿いを震源とする地震が発生したと仮定し、年代別に避難所への未到達割合などの解析を行った。堀合さんは取材

と力を込めた。

に「震災を振り返るだけでなく、次に来る災害へ備えるきっかけにしてほしい」

入場無料。時間は午前10時～午後5時。

(佐々木祐紀)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。